

# ATAC メンバーの自己研鑽

## －クライアントの要望に答えるために－

ATAC は中小企業の技術支援を目的に 1991 年に設立され、明後年に 25 周年を迎えます。メンバーはほとんどが大企業の OB で、近年は 20 数名で推移していますが、発足以来のメンバーは 2 名のみで、ここ 2～3 年は高齢化で数人が退会し、これに代わって新人が 10 名加入してきています。

メンバーは出身企業では製造技術や研究開発などその道のベテランですが、入会時に必ずしも中小企業の経営や個々の技術に詳しいわけではなく、ATAC に入会してからコンサルティングに役立てるために視野の拡大に努めています。

ここでは ATAC メンバーが日常どのように活動しているかをご紹介します、お付き合いいただく際のご参考に供したいと思います。

### 1. ATAC 研究会

月に 2 回、全メンバーが集り、半日かけて ATAC 全般の活動、コンサルティングの進捗状況と新規候補案件等を討議してメンバーからのアドバイスを吸収しています。

### 2. ATAC 講演会、ものづくりセミナー

企業の出席者数 10 名を対象に、ATAC メンバーが何人がこれまでの活動での成果などを報告し、合わせてゲストにも講演を頂き、聴講者の業務の参考にしてもらっています。ATAC メンバーの間にも役立っています。

### 3. 社長懇話会

年に 2 回程度、企業経営者 20 名ほどを対象に、優れた企業を見学し、また社長に講演を頂く会を開催しています。他企業の経営の真髄に触れると同時に、情報交換と親睦にも役立っています。

ATAC メンバーにとっても中小企業経営のコツや新分野の話を聞いて参考になります。

### 4. 企業見学会

年に 1 度、宿泊して遠方まで出かけ、その地域の企業数社を見学して参考にしています。これまでに出かけたところを挙げますと、長野、仙台・石巻、三重、徳島、中京地方、北陸地方、愛知、岡山・広島、大分、網走・択捉地方などです。

また、淡路、京都伏見など近隣の企業を日帰りで訪問することも行っています。

### 5. ATAC グループ交流会(ATAC サミット)

ATAC の発足から遅れて、奈良、和歌山、広島にも ATAC グループが発足し、それぞれ独自の活動を行っています。年に 1 度、会場持ち回りで集って、近況や課題の報告を行っています。クライアントをいかに獲得するかなど、忌憚のない意見が交わされ、参考にしています。

### 6. OB 活用全国会議

2007 年以来、年に 1 度、10～20 の機関が主に大阪に集り、近況を話し合い、企業支援に必要なことなどの情報を交換しています。最近、他の機関の課題にも協力して取り組む連携の動きができています。

最近の ATAC の活動状況は、本 ATACNews 誌にその都度紹介していますが、ATAC メンバーも自己研鑽によって日々進歩していることをご理解頂いて、これからも変わらぬお引き立てをお願いします。

(池田 (隆))



ATAC 研究会風景